

受付  
3.4.6  
介護保険  
代表者

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 播陽灘	代表者	田上 龍太郎	法人・事業所の特徴	<p>当法人は、当事業所以外に特別養護老人ホームとグループホームを運営しており、グループ会社では、居宅介護支援事業・訪問入浴・福祉用具・デイサービス・地域包括支援センターがあり幅広く介護分野に携わっている。また介護リフトや福祉用具を利活用して利用者と職員に優しい職場を目指している。当事業所は、灘のけんか祭りでは有名な姫路市木場の村の中にあり、近くには木庭山やヨットハーバーがある自然豊かで閑静な場所にある。当事業所の地域交流スペースでは、いきいき百歳体操・ふれあいサロン・出張喫茶を開催し地域住民にもご利用いただいています。利用者は同法人の特別養護老人ホームでの行事に参加したり、地域住民と交流を図っている。小規模多機能の訪問業務では配食サービスを含んで定期的な見守り(安否確認)や不安時の電話対応や急な通い・訪問・泊まりにも対応して柔軟なサービス提供を行なっています。</p>
事業所名	小規模多機能ホーム いやさか	管理者	田上 雄太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	1人	1人	3人	1人	0人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業所評価では、項目に対しての事前説明を行ってから評価する。</li> <li>地域かかわりシートでは項目に対しての説明文を別紙に配布し、評価していただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の設問の意味を説明し共通理解で自己評価ができたと考える。</li> <li>ユニット内の見学だけでは、見えない質問項目に対しての取組みを文章化できたので、会議参加できない方にも取組みが見やすかったかと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の取組みで良いと考えます。</li> <li>今の見学だけでは見えない質問項目や会議に参加できない方への配慮は良いと考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業所評価では、項目に対しての事前説明を行ってから評価する。</li> <li>地域かかわりシートでは項目に対しての説明文を別紙に配布し、評価していただく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊利用者が増加しているのので今まで備品を置いていたものを整理して、居室の空間を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊者の対応が柔軟にできるように整理を行った。備品の整理と使いやすさにも考慮して、配置出来ていると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中活動スペース（共有空間）の環境整備や安全管理にも配慮を検討してください。</li> <li>宿泊者自身にアンケートをとってみてはいかがでしょうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットケアのリビングとダイニングの考え方に習い、日中活動スペース(共有空間)を気分を使い分けができるよう、配置を考える。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年2回広報誌を作成し、地域包括支援センター・病院・居宅・老健等の各機関へ配布しいやさかの取組みや地域交流スペースの案内等を情報提供していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春夏秋冬と年4回の広報誌発行を行い、地域包括支援センター・病院・居宅・老健等の各機関へ配布しいやさかの取組みを情報提供出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌の発行や配布については、今後も継続してください。</li> <li>ネット上の情報提供にも力点をおいてはどうか。</li> <li>老人会がある地域とない地域があり、ない地域に対して講演会を開いてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模多機能のホームページを開設して、紙面以外でも情報発信していく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様へ地域の公民館の行事予定を毎月情報提供していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、コロナウイルスの関係もあり、事業所から外出を促す情報提供は控え、公民館行事の案内は中止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で当面の外出支援は自粛で良いと考える。</li> <li>・引きこもりにならないように息抜きとして近隣の公園に出向くのも良いと考える。</li> <li>・コロナ禍が落ち着いた時の取り組みに期待しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防で姫路市から通所サービスの自粛要請があった際に、訪問サービスに切り替え、在宅生活が継続できるように柔軟に対応していく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域の心配の方の対応をまとめた相談簿を活用して、運営推進会議の際に報告を行う。</li> <li>・グループホームの家族様の参加だけでなく、小規模多機能利用者様の家族様の参加を募り事業内容や地域の状況共有を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス予防の観点で会議が書面での開催で何度か行ったが、適時会議資料に記載し報告を行った。</li> <li>・今年度は、コロナウイルス予防の観点で、変わった動きはせずに活動を行うため、小規模利用者家族の委員参画は行わなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で当面は、集合型開催が難しいので、書面会議は継続してほしい。</li> <li>・今後、リモート会議も検討されると良いと考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能の家族様の委員参画に関しては、集合型開催ができると判断したタイミングで参画の提案を行う。</li> <li>・新型コロナウイルスの情勢を鑑みながら、会議方法を集合型開催又は書面開催又はリモート開催することを適時判断し行っていく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木場の立地を考慮した防災計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在制作中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地条件や周辺環境から「避難確保計画」は必要と考えます。</li> <li>・小規模多機能は、「通い」「訪問」「泊まり」と多岐にわたるサービスがあるので、災害時の安否確認なども必要と考えます。</li> <li>・洪水の想定浸水は0.5～1.0m未満、高潮は1.0m～2.0m未満、八家川堤防を越えた浸水の場合は1.62mにもなります。よって豪雨による浸水や地震によるライフライン停止期間及び復旧の予測、津波からの避難、各種ストック状況の把握が必要と考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の皆様のご意見も参考にし、木場の立地を考慮した防災計画を作成する。</li> </ul>